

八戸港コンテナ定期航路就航状況(2021年10月現在) □ 外航 □ 国際フィーダー

| コンテナ航路 | 船社名(日本総代理店) | 集荷代理店 | 寄港間隔 | 寄港地 |
|-----------|---|---------------------|--------------|---|
| 中国・韓国航路 | 南星海運(株) (南星海運ジャパン(株)) | 八戸港湾運送(株) | 週2便 (月・土) | (NCQ航路) 青島→大連→釜山→博多→常陸那珂→仙台→ 八戸(月) →秋田→釜山新港→釜山→蔚山→光陽 |
| | 高麗海運(株) (高麗海運ジャパン(株)) | ナラサキスタッズ(株) 八戸支店 | | (NSP航路) 寧波→上海→釜山→清水→小名浜→仙台→釜石→ 八戸(土) →苫小牧→伊万里→釜山→蔚山→光陽 |
| 韓国航路 | 長錦商船(株) (株)シノコー成本 | 八戸通運(株) | 週2便 (火・土) | (THS2航路) 釜山新港→仙台→ 八戸(火) →苫小牧→舞鶴→境港→釜山→釜山新港→清水→常陸那珂→仙台→ 八戸(土) →秋田→酒田→釜山→釜山新港 |
| | 興亜LINE(株) (株)シノコー成本 | 北日本ポートサービス(株) | | |
| 北米航路 | Westwood Shipping Lines (センワマリタイムエージェンシー(株)) | 八戸港湾運送(株) | 休止中 | シアトル・バンクーバー・釜山ほか |
| 国際フィーダー航路 | (株)横浜コンテナライン | 八戸通運(株) | 週1便(金) | 横浜→仙台→八戸(金)→苫小牧 |
| | 井本商運(株) | 八戸港湾運送(株) | 週1便(土) | 横浜→仙台→八戸(土)→苫小牧→東京 |
| | 鈴与海運(株) | 八戸港湾運送(株) | 週1便(火) | 横浜→東京→八戸(火)→苫小牧 |

主な寄港地と八戸港の所要日数(最短)(2021年10月現在)

| 寄港地 | 輸出 | 輸入 | 寄港地 | 輸出 | 輸入 | 寄港地 | 輸出 | 輸入 |
|----------|----|----|-------------------|----|----|------------------|----|----|
| 釜山(韓国) | 6 | 4 | 蛇口(中国) | 16 | 18 | シアトル(米国西岸) | 21 | 21 |
| 光陽(韓国) | 9 | ※ | シンガポール | 19 | 20 | ニューヨーク(米国東岸) | 38 | 38 |
| 蔚山(韓国) | 7 | ※ | レムチャパン(タイ) | 17 | 17 | バンクーバー(カナダ) | 23 | 19 |
| 基隆(台湾) | 9 | 16 | マニラ(フィリピン) | 13 | 16 | ブリスベン(オーストラリア) | 31 | 21 |
| 台中(台湾) | 10 | 16 | ホーチミン(ベトナム) | 15 | 15 | オークランド(ニュージーランド) | 40 | 28 |
| 高雄(台湾) | 11 | 16 | ハイフォン(ベトナム) | 16 | 18 | サウサンプトン(イギリス) | 29 | 35 |
| 香港(中国) | 14 | 13 | タンジュンプリオク(インドネシア) | 16 | 22 | ルアーブル(フランス) | 30 | 35 |
| 大連(中国) | 12 | 9 | ムンバイ(インド) | 25 | 25 | ブレーメルハーフェン(ドイツ) | 32 | 35 |
| 青島(中国) | 15 | 11 | ポートクラン(マレーシア) | 19 | 19 | ハンブルク(ドイツ) | 43 | 44 |
| 上海(中国) | 11 | 9 | ドバイ(UAE) | 28 | 22 | ロッテルダム(オランダ) | 41 | 42 |
| 天津新港(中国) | 13 | 7 | タコマ(米国西岸) | 21 | 21 | アントワープ(ベルギー) | 41 | 49 |
| 寧波(中国) | 13 | 8 | ロングビーチ(米国西岸) | 18 | 18 | | | |

※光陽・蔚山(韓国)については、釜山にまとめた後に輸入されています。

八戸港ご利用のお問い合わせは次の各社へ!

海貨業者

- ◆八戸通運株式会社 海運部
(株)シノコー成本、(株)横浜コンテナライン 集荷代理店
TEL:0178-29-0202 FAX:0178-20-3281
- ◆八戸港湾運送株式会社 コンテナ事業部
(南星海運ジャパン(株)、WSL、井本商運(株)、鈴与海運(株)、オリエントオーバーシーズコンテナラインリミテッド(OOCL)日本支社、インターエイシアライン(株) 集荷代理店)
TEL:0178-29-3177 FAX:0178-29-3130
- ◆新丸港運株式会社 営業部
TEL:0178-20-2325 FAX:0178-20-2356
- ◆八戸運輸倉庫株式会社 営業部
TEL:0178-28-2401 FAX:0178-28-6976
- ◆三八五流通株式会社 八戸区域事業所
TEL:0178-52-7755 FAX:0178-52-7751
- ◆日本通運株式会社八戸支店
TEL:0178-20-3040 FAX:0178-20-3154
- ◆ナラサキスタッズ株式会社八戸支店
(高麗海運ジャパン(株) 集荷代理店)
TEL:0178-21-6000 FAX:0178-21-6050
- ◆北日本ポートサービス株式会社
(SITC JAPAN(株)、三栄海運(株) 集荷代理店)
TEL:0178-20-2148 FAX:0178-29-3130

海運会社(国内総代理店)

- ◆南星海運ジャパン株式会社 【東京都】 中国・韓国航路 TEL:03-5843-6100 FAX:03-5843-6110
- ◆高麗海運ジャパン株式会社 【東京都】 中国・韓国航路 TEL:03-3500-5051 FAX:03-3500-5095
- ◆株式会社シノコー成本 【東京都】 韓国航路(長錦商船(株)) TEL:03-6278-6032 FAX:03-6278-6038
(興亜LINE(株)) TEL:03-3273-4981 FAX:03-3281-8605
- ◆センワマリタイムエージェンシー株式会社 北米部 【東京都】 WSL:北米航路
TEL:03-5733-7203 FAX:03-5733-7208
- ◆株式会社横浜コンテナライン 【横浜市】 国際フィーダー航路(横浜)
TEL:045-227-8863 FAX:045-681-8885
- ◆井本商運株式会社 【神戸市】 国際フィーダー航路(東京・横浜)
TEL:078-322-1600 FAX:078-322-1625
- ◆鈴与海運株式会社 【静岡市】 国際フィーダー航路(東京・横浜)
TEL:054-354-3100 FAX:054-354-3102
【東京営業所】 TEL:03-3432-7159 FAX:03-3432-0896
- ◆オリエントオーバーシーズコンテナラインリミテッド(OOCL) 日本支社【東京都】インド・東南アジア航路(横浜港トランシップ)
TEL:03-3493-6001 FAX:03-3493-6405
- ◆インターエイシアライン株式会社 【東京都】 東南アジア航路(横浜港トランシップ)
TEL:03-3580-6555 FAX:03-3580-6575
- ◆SITC JAPAN株式会社 【東京都】 中国・アジア航路(横浜港トランシップ)
TEL:03-6262-7778 FAX:03-6262-7117
- ◆ジャパン・パン・ラインズ株式会社 【東京都】 小口混載貨物サービス(輸出)
TEL:03-6779-9610 FAX:03-6779-9650
- ◆イーキューワールドワイド株式会社 【東京都】 小口混載貨物サービス(輸出入)
TEL:03-5643-3600 FAX:03-5643-3606



八戸港国際物流拠点化推進協議会

Hachinohe Port Promotion Commission

事務局 / 八戸市商工労働観光部商工課 貿易振興グループ
〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市庁別館5階 TEL.0178-43-2111(代表) TEL.0178-43-9244(直通) FAX.0178-43-2256
(E-mail) hppc@hachinohe-port.org (ホームページ) https://hachinohe-port.org/

2021年11月発行 第51号

発行所 八戸港国際物流拠点化推進協議会

企画編集(株)テクノス

もっとすごい! PORT OF HACHINOHE NO. 51 2021年11月発行

ポト博士 ハチヨウ

TOPIX

- P2・国内定期コンテナ航路 新たに八戸港へ就航!
- P3・鈴与株式会社 袖師埠頭事業部 部長 山下 哲哉氏からのメッセージ ・みなと通信
- P4・商談スキルアップ講座を開催 ~ASEAN向け通年マッチング支援事業
- P4・北米向け食品輸出拡大支援事業を実施
- P5・八戸市海外経済協力員レポート 「上海の二つのワインパーティー」
- P6-7・令和3年度 八戸港コンテナ関連 補助事業のご案内
- P8・航路情報、各お問い合わせ先等



国内定期コンテナ航路新たに八戸港へ就航!

今年4月から、鈴与株式会社が運営する国内定期コンテナ航路の新サービス「はこ廻船(かいせん)」が開始され、4月9日に八戸港へ初寄港しました。航路は、清水⇒市原⇒大船渡⇒八戸⇒苫小牧⇒函館で、八戸港へは、当面、月1回の就航となっています。

1. 船会社 鈴与株式会社(静岡県静岡市)

2. 定期航路(新規)の概要

(1) 輸送船 国内貨物輸送用コンテナ船

(2) 寄港地・頻度

〈寄港地〉清水/市原/大船渡/八戸/苫小牧/函館

〈頻度〉当面、月1回寄港

(3) 接岸岸壁 八太郎2号埠頭J岸壁

(4) 貨物 主に化学品等



| 船名 | 総トン数 | コンテナ積載数 | 運営会社 |
|-----|-------|---------|-------|
| 駿河丸 | 498トン | 104TEU | 鈴与(株) |

鈴与株式会社 袖師埠頭事業部 部長 山下 哲哉氏からのメッセージ



広域海上コンテナ輸送サービス「はこ廻船」は「はこべないものをはこぶ、はこべないときにはこぶ」をキーコンセプトに、2018年に東廻り航路、2019年に西廻り航路に就航し、北海道から九州までの海陸一貫・東西間輸送を開始致しました。ルートである廻船問屋(1801年創業)のDNAを受け継ぎ、「共生(ともいき)の理念のもと、ドライバー不足、温暖化ガス削減、資源循環、BCPといった社会課題を解決し、持続可能な地域社会の実現を目指しています。今年創業220年の節目にあたり、北東北の玄関口である八戸港への定期就航を実現できたことは大変メモリアルな出来事です。

八戸港は「はこ廻船」の母港である清水港とは飼料原料の輸送で古くからご縁があり、私自身も本船の寄港に合わせてお邪魔し、帰りに八食センターさんに寄って漁師の叔父たちに頼まれたイカを両手に帰路に就いたことを思い出します。清水港と八戸港の産業は、漁港+工業港という形態に加え、取扱貨物も飼料原料、鋼材、造船、製紙、非鉄、LNGと非常に似通っています。ただし、昨今の清水港においては飼料原料、LNGを除く殆どの素材系貨物が縮小し、製品・半製品系貨物にシフトしています。汎用原料の取扱いに関してこの動きは更に加速することが予測され、在来内航船やタンカーによって1,000トン単位で輸送されていたものが高品質化などで輸送単位が小さくなることで、両端の大型荷役設備の単位数量当たりの維持費用を押し上げることとなるため、徐々に経済合理性を失いつつあります。今回の八戸就航も従来はタンカー船で輸送されていた化学品をタンクコンテナ輸送に切り替えた初めてのケースで、今後この動きは更に顕在化していくと考えています。

こういった状況に対応すべく、中ロットのバラや液体輸送を得意とする「はこ廻船」は、高品質化による新産業形態を支えつつ、フェリーやRORO船と競合することなく、汎用品輸送におけるダウンサイドリスクの軽減を実現します。また、このサービスは、化学系産業を後背地に持つ大型工業港である八戸港との相性は非常に良く、長距離陸上輸送を余儀なくされているバラ貨物や再生資源、危険品輸送を八戸港に誘導することで地域社会に貢献できると考えています。

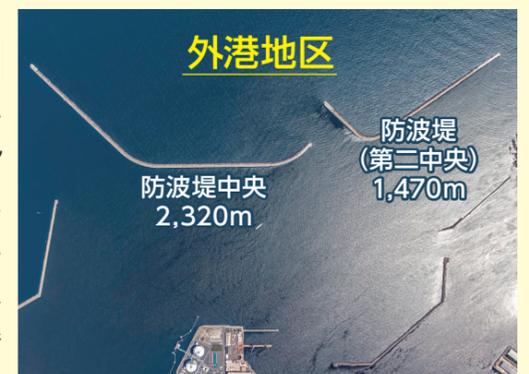
本サービスを多くの皆様にご利用いただくとともに、八戸港の利便性がますます高まることを心より願っております。



八戸港湾・空港整備事務所では、港内の貨物船が安全かつ効率的に荷役作業を行うことや荒天時の沖合航行船舶の避泊を目的として外港地区に防波堤を整備して参りました。

防波堤(中央)は昭和51年、防波堤(第二中央)は昭和61年から整備が始まり、今年、両防波堤は事業採択延長2320m、1470mが概成し、長い整備の歴史にいったん幕を下ろしました。

これまで、防波堤整備に携わってきた、多数の関係者様のご支援ご協力で改めて感謝申し上げます。今後も八戸港が安全・安心して利用できるように、港の整備を着実に進めて参ります。



国土交通省東北地方整備局 八戸港湾・空港整備事務所 TEL:0178-22-9391 FAX:0178-45-7239

商談スキルアップ講座を開催 ～ASEAN向け通年マッチング支援事業

文／Year-round ASEAN oriented matching support service 実行委員会 事務局 工藤 大和

新型コロナウイルス感染症の影響で、依然として海外との往来は困難であり、商談についてもオンラインが主流となっています。このような状況から、当事業では、昨年度に引き続き、オンライン商談の準備、進め方、プレゼン資料の提示方法についてスキルアップを目的としたオンラインでのセミナー、講座を実施しました。

今年度は、講師をベトナムの物流・貿易会社における日系企業総括マネージャーとして主にベトナム製品の海外輸出支援に従事した他、日本のコンサルティング会社において中小企業の海外販路拡大等にも携わり、2016年よりジェット口農林水産分野輸出プロモーターを務める中正宏様に依頼しました。

参加企業全体向けセミナーにおいては、オンラインでの商談資料作成方法や注意すべき点等の説明をいただき、続く各社個別面談でのプレゼン資料作成支援では、各社の現状のプレゼンを確認した上で、他社類似製品との差別化ポイントを明確にすること、バイヤーの記憶に残るプレゼンが必要である等の指導をいただきました。今後は面談内容を基礎として、講師がプレゼン資料を作成し、参加企業に提供する予定となっております。

企業様におかれまして、商談、打ち合わせ等、既にオンラインの機会が多いかと思いますが、商談方法の見直しの機会として、また今後本事業で開催するオンライン商談会にも御活用いただけるものと思います。



プレゼン資料作成支援における各社プレゼンの様子

コロナ禍の影響により、急速に商談や見本市等のオンライン化が進展しました。今後も、対面の重要性は変わらないものの、コロナ後においてはオンライン上の販路拡大手法もスタンダード化していくものと考えられ、事業実行委員会では、今後もオンラインに対応した講座等を企画してまいりますので皆様の御参加をお待ちしております。

ベトナム、シンガポールをはじめとする東南アジアへの販路拡大に関心のある八戸圏域内の企業様がおられましたら、実行委員会事務局の八戸市商工課(0178-43-9244)までお気軽にお問い合わせください。

北米向け食品輸出拡大支援事業を実施

文／八戸市商工課 高橋 華絵

市では、八戸圏域の町村(三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)と連携しながら、アメリカ向けに地場産品の販路拡大に取り組んでいます。これまで市では、2014年よりハワイ・シアトルへの販路開拓に取り組んできたほか、2019年にはニューヨークにおいて、3日間の物産展及び現地バイヤーへの営業訪問や市場視察を行いました。

今年度は、八戸市海外経済協力員の池田明美様が所属するGlobal Bridge Partners LLC(代表 松本康樹様)様を現地パートナーとして、シアトルでの販路拡大支援事業を実施することといたしました。今年度実施予定の事業内容として、シアトルで発行の情報誌「Origami」へ、記事を年2回掲載するほか、10月から2月にかけて現地営業代行を、翌年1月には現地のレストランにてプロモーションを実施することとしております。また、ECサイトによるオンラインビジネスへも新たに取り組む予定としております。

新型コロナウイルス感染症の影響により渡航制限がなされ、従来の現地対面型の海外ビジネス展開が難しい状況ではありますが、現地パートナーと協力し、引き続き海外販路拡大に取り組んで参りたいと思います。

八戸市海外経済協力員レポート

上海のニッポンのワインパーティー

文／八戸市海外経済協力員 マスターソムリエ 高野 豊

マスターソムリエ高野が来るというので、上海の財界人に声をかけ、最高級ワインバーで開催されたワインパーティー。参加者は中国最大のスーパーの役員や有力企業の役員やそのとりまき。日本から持ち込んだのは日本大使館で使われていた、長野の井筒メルロー樽熟成など、参加者はフランスのシャトーマルゴーなど世界のトップクラスのワインを持ち込んで来る。ファッションも最先端、これでは高級フランスワインの相場が上がるのも当然と思いながらも、用意されたリーデルのグラスにワインを注ぎながら、ソムリエとして日本とフランスそして中国のワインの香りや味わいやシャトーの特徴を紹介しました。

華やかなキラキラ輝くような一夜でした。

翌日、上海の街のバーで開催したワインパーティー。参加者は普段着の庶民、ソムリエなんか見たこともない人が集まり、私は宇宙人を見るような目で見つめられます。

ワインはブドウの香りが際立つ優しい甘さの井筒ワインナイアガラ白。みんな一口飲んだ瞬間に、顔がほころび、これはいい・・・と私の肩をたたいてくれる。

やっぱりそうかと心の中でVサイン。

上海に来るまでは「中国は赤ワイン市場だからナイアガラなんか持ち込んでも無理無理」と言われていました。以前、東京品川のワイン売場で、ナイアガラのアイスワインを台湾の観光客が「最高に美味しい」と買って行った経験から、西欧では評価の低いナイアガラの甘口ワインはアジア系の人にはうけるという想定が出来ていて、上海のワインバーでの反応は予想通りでした。

中国の0.1%の人がフランス高級ワインの相場を引き上げ、残り的人達は三十年前の日本の消費者と同じ。とすると目の前の中国には莫大な市場がある。ワイン専用種ではないナイアガラからワインを作る発想は日本にしかなく、ナイアガラの白は日本の独占ワインでもあります。

最近ヨーロッパに日本のワインを紹介するプロジェクトが進んでいますが、それに比較してアジア市場の可能性は100倍以上。ヨーロッパに向かって発信するという華やかで困難な道を行くのか、アジアに向かって発信するという、歓迎され実利のある道を行くのか、全ての結論はワインパーティーの現場にあります。



マスターソムリエ 高野 豊 profile

1951年、長野県長野市生まれ、株式会社高野総本店代表取締役社長、マスターソムリエ。農業系ソムリエと呼ばれ、超一流ホテルでのサービスから田舎の公民館でのワインを楽しむ会の講師等幅広く活躍中。



申請受付
期間

1 2021年8月2日(月)～11月30日(火)
※予算上限額に達した場合、それ以降は仮受付といたします。
2～4 2022年1月4日(火)～1月31日(月)
※予算上限額に達した場合、申請全体から按分して支給します。

補助対象期間

2021年1月1日(金)～12月31日(金)
5は航路の開港又はトライアル運航の開始日から令和4年2月28日まで

1 新規・シフト貨物集貨促進事業

補助金額 1TEU当たり **20,000円**

1社あたりの上限:375万円+横浜港利用加算150万円=525万円

補助対象

①過去2年間(令和元年、2年)利用なしの場合は、増加量1TEU目から補助
②継続利用の場合は、前年より増加していること、且つ前年他港を利用した貨物と同一品目を八戸港へシフトした取扱量に対し増加量1TEUから補助



リーファー増加加算

補助金額 1TEU当たり **2,500円**

補助対象

新規・シフト貨物集貨促進事業補助金の対象のうちリーファーコンテナに対し加算

陸送費加算

補助金額 対象経費の **1/3**

ただし、1TEU当たりの上限額15,000円

補助対象

新規・シフト貨物集貨促進事業補助金の対象のうち、貨物出荷元(納品先)と八戸港コンテナターミナルが直線距離で30km以上離れている貨物に係るトラック、トレーラー等の輸送費及び付帯する電源シャーシ利用料等にかかる経費を対象として加算



横浜港利用加算

補助金額 1TEU当たり **15,000円** (上限150万円)

補助対象

新規・シフト貨物集貨促進事業補助金の対象のうち、横浜港を経由する国際フィーダー航路利用の貨物に対し加算



2 継続大口利用者支援助成金

補助金額 1TEU当たり **1,000円** 1社あたりの上限:150万円

補助対象

八戸港で3年間(令和元年～3年)のコンテナ貨物平均取扱量が150TEU以上の荷主に対し、当年取扱量に応じて補助

3 八戸くん蒸上屋利用事業補助金

補助金額 1室1回当たり **50,000円**

(予算の範囲内において上限なし)

補助対象

八戸港のくん蒸上屋を使用する荷主



4 八戸港小口混載貨物輸送事業費補助金

補助金額 R/T※当たり **3,000円**

※1tまたは1m³のいずれか大きい方(予算の範囲内において上限なし)

補助対象

対象期間内に小口混載貨物サービスを利用して輸出入を行った荷主



5 国際定期コンテナ航路運航支援事業費補助金

補助金額 ①外航航路:1寄港あたり**50万円**(1社あたりの上限250万円)

②国際フィーダー航路:1寄港あたり**10万円**(1社あたりの上限50万円)

補助対象

①外航航路(八戸港と海外の港湾を起点又は終点とする航路)を新規開設、又はトライアル運航する船社
②国際フィーダー航路(八戸港と東京港、横浜港又は川崎港のいずれかを起点又は終点とする航路)を新規開設、又はトライアル運航する船社